

【緑地を楽しむ本】

『身近でできる SDGs エシカル消費』

1 エシカル消費ってなに？ 2 エシカル消費でSDGsを！ 3 エシカル消費をやってみよう！

三輪昭子/著 山本良一/監修 さ・え・ら書房



SDGs？ エシカル消費？
なに、それ？ という感じで、
はじめは手に取る気にもなら
なかった本だ。でもふと開い
たページに、目が釘付けにな
った。「フェアトレードのチョコ

レートを買おうとしたけど、ほかのより値段が高い。どうしたらいい？」という質問に「無理をしなくてもいいのです」と答えている。自分のできる範囲で、「こうしたい」と考えたときにエシカル商品をえらべばいいのです、というのだ。なんだか急に気が楽になって、本を開いてみた。

私たちは生きていくために多くのものを消費しているが、それらはどのようにして我々の所に届いているのだろう。地元の有機野菜が近所の店に出ていれば、農薬もあまり使っていないし安心して食

べられる。スーパーで売っている季節外の野菜の場合は、遠い国で生産され、コンテナ船で輸送、港からはトラックではるばる運ばれてきている。冷蔵保存や輸送のエネルギーも余計にかかっているはずだ。地元のものを買えば、それらのエネルギーを削減し地元農家の応援になるだけでなく、「私は地元野菜と農家を応援します、農薬や保存料は必要ありません」という意思表示にもなるのだ。

どのようにすれば環境や社会の問題を良い方向にしていくのかを考える消費のしかたを「エシカル消費」というらしい。一つ一つの消費行動が、私達の生き方の意思表示となるし、それも毎日の積み重ねで大きな力となる。誰もが賢く、健やかな消費をすることが、未来を切り開いていくのだ。

(小川)